

公正な採用選考をめざして



厚生労働省 福岡労働局

採用選考の基本的な考え方

1 応募者の基本的人権を尊重すること。

- ☆ 日本国憲法（第22条）は、基本的人権の一つとして全ての人に「職業選択の自由」を保障。
- ☆ 雇用主にも、「採用の自由」が認められているが、応募者の基本的人権を侵してまで採用の自由が認められているわけではない。

2 応募者の適性・能力に基づいた基準により行うこと。

- ☆ 「就職の機会均等」を実現するためには、雇用する側が応募者に広く門戸を開いた上で適性・能力に基づいた基準による「公正な採用選考」を行う。

公正な採用選考の基本

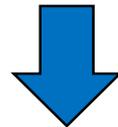
1 応募者に広く門戸を開くこと

☆ 求人条件に合致する全ての人に応募できるようにすること。

2 本人のもつ適性・能力に基づいた採用基準とすること

☆ 「応募者が求人職種の職務遂行上必要な適性・能力をもっているかどうか」という基準で採用選考を行う。

☆ 「本人に責任のない事項」、「本来自由であるべき事項」を、採用基準にしない。



採用基準にしないつもりでも、応募用紙に書かせたり、面接時に尋ねれば、結果として採否決定に影響を与えることとなり、就職差別につながるおそれがある。

採用選考時に配慮すべき事項

～就職差別につながるおそれがある14事項～

1 本人に責任のない事項の把握

① 「本籍・出生地」に関すること

× 「戸籍謄（抄）本」や本籍が記載された住民票（写し）の提出を求める。

× 「出身地はどこですか」「生まれてからずっと現住所に住んでいますか」等

② 「家族」に関すること

× 家族の職業（勤務先、職種など）、続柄（家族構成を含む）、健康、病歴、地位、学歴、収入、資産等を把握する。

③ 「住宅状況」に関すること

× 間取り、部屋数、住宅の種類、近隣の施設などを把握する。

④ 「生活環境・家庭環境など」に関すること

採用選考時に配慮すべき事項

～就職差別につながるおそれがある14事項～

2 本来自由であるべき事項（思想信条にかかわること）の把握

- ⑤ 「宗教」に関すること
- ⑥ 「支持政党」に関すること
- ⑦ 「人生観・生活信条」に関すること
- ⑧ 「尊敬する人物」に関すること
- ⑨ 「思想」に関すること
- ⑩ 「労働組合（加入状況や活動歴など）」、「学生運動などの社会運動」に関すること
- ⑪ 「購読新聞・雑誌・愛読書など」に関すること

※思想信条にかかわることを採否の判断基準とすることは、憲法上の「思想の自由（第19条）」、「信教の自由（第20条）」などの規定の精神に反することになります。

採用選考時に配慮すべき事項

～就職差別につながるおそれがある14事項～

3 不適切な方法による採用選考の実施

⑫ 「身元調査など」の実施

- ✗ 応募者の居住地域や出身学校を訪問して調べたり、近所や関係者への聞き込みや様々な書類・データを収集すること等により、出生地、家族状況、家庭環境、思想・信条などを調べる。
- ✗ 面接時に自宅付近について聞いたり、家庭環境などを聞く。

⑬ 「本人の適性・能力に関係のない事項を含んだ応募書類」の使用

- ✗ 本籍地や家族状況など、就職差別につながるおそれのある記入・入力項目を含む不適切な応募用紙（社用紙、エントリーシート）の提出を求める。

⑭ 「合理的・客観的に必要性が認められない採用選考時の健康診断」の実施。

就職差別につながるおそれのある事象

就職差別につながるおそれのある事象として
公共職業安定所から報告のあったもの
(福岡労働局管内)

令和3年度～令和5年度（合計236件）

- * 面接時における不適正な質問（159件）
- * 不適正な社用紙の使用、統一用紙以外の用紙の使用・提出（50件）
- * その他

令和5年度

新規高等学校卒業者の採用選考に係る不適正事象の例

福岡労働局職業安定部職業安定課

令和6年3月末現在

【面接時の質問】

- ◎ 「**父親の仕事は何ですか**」「**兄弟はいますか**」と質問された。
- ◎ 「**両親は共働きですか**」「**家族は何歳ですか**」と質問された。
- ◎ 「**家族は何人ですか**」と質問された。
- ◎ 「〇〇に住んでいるんだ。最寄駅は」と質問された。
- ◎ 自宅周辺を尋ねる質問があった。
- ◎ 「尊敬する人物、影響を受けた人物はいますか」と質問された。
- ◎ 「**家族の意向**」「**持病の有無**」「**過去の悪事**」「**短所**」を尋ねる質問があった。
- ◎ 「新型コロナウイルスに感染したことはありますか」と質問された。
- ◎ 「過去に重病・骨折等がありますか」「**内臓などでよくないところ**はありますか」と質問された。
- ◎ 応募前職場見学に参加したかを聞かれた。

令和4年度

新規高等学校卒業者の採用選考に係る不適正事象の例

福岡労働局職業安定部職業安定課

令和5年3月末現在

【面接時の質問】

- ◎ 「**母親の仕事**」について質問された。
- ◎ 「**兄弟の有無**」「**兄弟の人数**」について質問された。
- ◎ 「**親から学んだことは何ですか？**」と質問された。
- ◎ 「**ご家族は当社で働くことに反対していませんか？**」と質問された。
- ◎ 「〇〇県で生活することになりますが、家族はどう思われていますか？」と質問された。
- ◎ 「〇町って〇駅から上の方？下の方？かね。」と質問された。
- ◎ 「住んでいる地域や過去に住んでいた地域」について質問された。
- ◎ 「〇〇のニュースについてどう思いますか？」と質問された。
- ◎ 「今、何か薬は飲んでいますか？」 「通院していますか？」 「何か病気はありますか？」と質問された。

令和3年度

新規高等学校卒業者の採用選考に係る不適正事象の例

福岡労働局職業安定部職業安定課

▶ 令和4年3月末現在

【面接時の質問】

- ◎ 「病歴」「持病」「アレルギー」「入院の理由」について質問された。
- ◎ 「ワクチン接種の有無」について質問された。
- ◎ 「兄弟の有無（人数）」「家族構成」「家族は応募についてどう言っているのか」について質問された。
- ◎ 「家族（親、兄弟）の仕事」について質問された。
- ◎ 「家族の中でどのような役割か」と質問された。
- ◎ インターネットで事前に居住地を確認の上、面接時に居住地（建物、居住年数）を質問された。
- ◎ 「尊敬する人物」について質問された。
- ◎ 「最近見た単行本・アニメ」「どのような本を読んでいるのか」について質問された。
- ◎ 「（居住地から災害を連想して）被災の有無」について質問された。

採用選考に係る適切な質問例

- ▶ 緊張をほぐすための面接導入部分
 - ・ 筆記試験はうまくできましたか。
 - ・ 緊張されていますか。
 - ・ 面接会場へは迷わず来れましたか。
- ▶ 志望動機・就労意欲（適性・能力）
 - ・ なぜ、この仕事（業界）に就職しようと思ったのですか。
 - ・ 当社でどのような仕事をしたいですか。
 - ・ この仕事（業界）と同様の職務経験や役立つ経験があれば、その内容を具体的にお話してください。
- ▶ 企業研究・情報収集
 - ・ 当社について知っていることがあれば話してください。
 - ・ 当社（製品）の特色（強み）は何だと思えますか。
- ▶ 自己PR
 - ・ 自己PRをお願いします。
 - ・ 採用された場合、与えられた仕事にどのような姿勢で臨みますか。
 - ・ 当社での仕事にあなたのどのような面を活かしたいと思えますか。
- ▶ 質疑応答
 - ・ 当社への質問や入社後の希望・条件などがありますか。

採用選考に係る適切な質問例

【参考】厚生労働省作成のパンフレット

厚生労働省では、パンフレット「公正な採用選考をめざして」を作成しています。

このパンフレットの36ページから37ページにも適切な質問例の記載がありますので参考にしてください。



厚生労働省HPからダウンロードできます

<https://kouseisaiyou.mhlw.go.jp/document.html#video02>



就職差別につながるおそれのある事象

【参考】「違反質問」リーフレット

採用選考時の不適切な事象の防止のため、次のリーフレットも是非ご活用ください。

(表)

STOP!! 違反質問

みなさんのご協力で
応募者の人権は守られます。

面接は…

- 1 応募者の総合的評価を目的とし、同時に
- 2 求人者と応募者の情報交換の場
- 3 応募者の適性と能力を判断する場です

面接試験は「選考」の場ですので、質問内容は可否の判断材料になります。

「違反質問ゼロ」へのご協力をお願いします。

ある人事担当者の言葉

私は今は人事担当者となりましたが、あれは20年ほど前の出来事です。採用試験を受けた当時、家族構成を記入する欄があり、私は母親の欄を記入しませんでした。面接時「お母さんは？」と尋ねられ、「離別しました」と答えました。「どうして離別したの?」「わかりません」「おばあちゃんが遠い出したとやろ」と言われました…とても悔しくて悲しかったことを今でもはっきりと覚えています。こんな取り組みで大切ですよね。

保護者の思い

「お母さんだけですか?離婚したんですか?」「我が家もひとり親家庭です。こういった質問等があると知って驚いています。ひとり親家庭になったことは、子どもには一切責任がないからです」

(裏)

こんなことを聞いて!

実際の高校生の声です!

聞いて欲しい質問の例

- 1 この会社(仕事)を選んだ理由を教えてください。
- 2 入社してどんなことを頑張りたいですか?
- 3 学校で頑張ってきたことを教えてください。
- 4 自己PRをお願いします。

緊張を和らげる質問の例

- 昨夜はよく眠れましたか?
- 緊張していませんか?大丈夫ですよ。
- 質問がわからないときはいつでも聞いてくださいね。
- 落ち着いてゆっくり答えてもらえばいいですからね。

2024年(令和6年)9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

● 5日～ 推薦・受付開始
■ 16日～ 選考開始(入社試験が始まる日)

まもなく始まります

福岡県内の学校関係機関、経営者団体、行政機関で構成する「福岡県高等学校卒業生就職問題連絡協議会」で決定された令和7年3月高等学校卒業生の就職問題に関する申合せにおいても厳守するよう申し合わせられています。

差別のない公正・公平な採用選考の実現を!
福岡労働局 ハローワーク(公共職業安定所)

このリーフレットは福岡県高等学校人権・同和教育研究協議会のご協力により作成しました。

※ このリーフレットは福岡労働局のホームページ「新規高等学校卒業生の募集・採用手続きについて」(<https://jsite.mhlw.go.jp/fukuoka-roudoukyoku/kousotusaiyou00830.html>) からダウンロードできます。

就職差別につながるおそれのある事象

不適正な社用紙・エントリーシートの使用

- * 家族状況に関する記載項目
- * 本籍・出生地に関する記載項目
- * 住宅状況、生活環境・家庭環境に関する記載項目
- * その他

アンケート用紙に不適切な記載項目（本籍、家族構成、過去の病歴等）、健康チェック用紙を使用、折込み広告に印刷された不適切な項目を含む履歴書を使用等

その他

求人票に記載されていない選考方法（学科試験、適性検査、作文）実施等

企業における人権問題への取組

1 「ビジネスと人権」について

近年、ビジネスと人権に関する社会的な関心の高まりを背景に、人権に対する取組みが企業活動に与える影響は拡大しています。2020年に政府は、「ビジネスと人権に関する行動計画（2020－2025）」を策定しています。企業の人権に関する取組みの内容次第で、事業活動においてポジティブな影響やネガティブな影響があると考えられ、人権に関する主要な国際ルールやガイドラインなどを踏まえると、企業が配慮すべき主要な人権及び企業活動に関連する人権に関するリスクの一つに、「差別的対応・表現（差別）」が挙げられており、基本的人権を尊重した取組みが求められていることをご理解ください。

「ビジネスと人権」に関する行動計画の公表を踏まえ、法務省において、企業における人権尊重の取組強化に資するため「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書が作成されました。

法務省専用サイト



報告書は、研修教材として使用できます。
企業における人権研修等でご活用ください。



企業における人権問題への取組

2 具体的な取組事例（宅地建物取引業）

宅地建物取引の場において、同和地区かどうかといった差別を助長するような調査や、高齢者、障がい者、在日外国人、母子（父子）家庭等に対する民間賃貸住宅への入居機会の制約といったものが問題化した。

県、宅地建物取引業者、業界団体が連携・協力し、人権問題に対する正しい理解と認識を持ち、今後の取組を行っていくために平成26年3月17日に「福岡県宅地建物取引における人権問題に関する指針」を策定。

業界団体は、会員企業（宅地建物取引業者）に対して、人権意識の高揚と普及を図るため、研修会を開催し、組織的な人権啓発の取組に努めている。

性的マイノリティをめぐる考え方

「LGBT」という言葉を聞いたことがありますか？

L（レズビアン）→「同性を好きになる女性」、**G**（ゲイ）→「同性を好きになる男性」、**B**（バイセクシャル）→「両性を好きになる方」、**T**（トランスジェンダー）→「出生時の戸籍上の性と性自認が一致しない方」
一般的に性的マイノリティの総称として用いられています。

「LGBT」は誰にとっても身近なテーマです

カミングアウトをすることが難しい状況の方も多数いるため、「身近にいない」と気付いていないだけかもしれません。カミングアウトしている人、していない人が応募者の中に当たり前前に存在するということを意識した面接を行いましょう。

採用選考時に心がけること

「戸籍や法律の性」と「自認の性」が異なることや、性的指向が異性とは限らないことは、その人を構成するアイデンティティに関わる要素です。採用の場面においても、LGBTという理由で避けるのではなく、「人を人としてみる」ことを念頭に、個人の尊厳に関わる問題として尊重し、性的指向・性自認に関わらず、能力や適性に基づいた公正な採用選考を行うよう心がけましょう。

厚生労働省履歴書様式例について

※令和2年7月、一般社団法人日本規格協会は、JIS規格の解説の様式例から履歴書の様式例を削除しています。

① JIS規格の様式例との相違点 「性別欄の任意記入」

前頁の「性的マイノリティをめぐる考え方」で触れたように、能力や適性に基づいた「公正な採用選考」を行うためには、多様な性的指向や性自認をもつ方が活躍できる環境整備が必要。



「困りごと」を抱えながら採用選考に臨んでいた。

(例)・知られたら不採用になるのでは。・履歴書やエントリーシートの性別欄に、自認する性別と異なる性別を記載するのが苦しい。・面接でカミングアウトすると、質問が不安。



★性別欄を任意記載に変更

(応募者が記載したい内容で記載することが可能、未記載も可)。

性別欄の記載内容や、未記載を理由に採否を決めることがないようお願いします。

☆制度上特定の性別の者を就業させることができない場合（坑内業務の一部等）には、求人票等に応募できない理由を明記し、事前に応募者の方に応募要件を十分理解してもらうようにしてください。

☆性別を把握されることに違和感を感じる方もいますので、くれぐれも把握を強要することがないよう、十分な配慮をお願いします。

厚生労働省履歴書様式例について

② JIS規格の様式例との相違点 「通勤時間欄等 4 項目について」

特に応募者のプライバシーの要素が非常に高い情報であることなどを踏まえ、「通勤時間」「扶養家族数（配偶者を除く）」「配偶者」「配偶者の扶養義務」の欄は設けていません。

これまで、JIS規格の様式例に基づいた履歴書等を使用することで、応募者に超過勤務・休日出勤・緊急対応の可否や、転勤の可能性も含めた配置先の配慮等を確認するために、これらの欄に記載された情報を把握されていた場合は、今後は、あらかじめ求人票や募集要項等に関係する情報を記載し、確認が必要な合理的な理由が分かるようにした上で、面接者全員に確認するようにしてください。

応募者への配慮のための情報収集であっても、「公正な採用選考」の基本に立ち返り、「面接時に確認が必要な事項か」「採用時または採用内定時に確認すれば足りるのではないか」等、採用選考に関わる皆様で事前に十分に議論を行ってください。



「公正採用選考」の基本は、「採用基準に関係しない事項は、面接時に尋ねないこと」

公正採用選考人権啓発推進員制度

1 目的

雇用主が、同和問題などの人権問題について正しい理解と認識のもとに、公正な採用選考を行っていただくため、一定規模以上の事業所等に「公正採用選考人権啓発推進員」を設置。

2 推進員の役割

- * 事業所内における公正な採用選考システムの確立を図ること
- * 事業所内における人権研修の計画及び実施に関すること
- * ハローワークや労働局等職業安定機関との連携に関すること 等

3 推進員設置対象事業所

従業員数30人以上の事業所（厚生労働省の基準は80人以上）
※福岡県内の設置事業所数 12, 346事業所（令和6年4月1日現在）

次頁から、推進員の皆さまに企業内で実践していただきたい参考例をご紹介します！

公正採用選考人権啓発推進員研修 受講後の企業内での取組（好事例）

- ▶ ある企業の総務課長は公正採用選考人権啓発推進員として研修会に出席すること等を通じて採用面接における留意事項についても十分理解をしていました。しかし、採用面接を行う役員が、しばしば適性と能力に関係のない質問を行うことがあり、せっかくの研修受講の成果を社内で生かせない状況でした。
- ▶ そこで、役員等に対し、①コンプライアンス・個人情報保護など、国民が企業を見る目が厳しくなっていること、②インターネットの掲示板において、応募者が各求人企業の対応ぶりについて書き込みをしており、対応の善し悪しが学生の間で企業イメージとしてすぐに広まる傾向があること、等について報告すると共に、企業が採用選考をしっかりと対応すると、学生からの評価も高まり、優秀な人材を獲得する機会が高まることを説明しました。
- ▶ これを契機に「採用選考における企業イメージアップ作戦」を行うことが役員会で決まり、総務課長が原案を作ることとなりました。もちろん、その内容には当然「公正な採用選考」の考えが根幹となっており、面接時での不適切な質問等も盛り込んでいます。

公正採用選考に係る取組事例

採用選考の実施に関する取組

- ▶ 高卒採用選考開始前に人事採用担当会議を実施し、公正な採用選考について担当者同士で確認を行い、共通の認識で採用選考に臨む。
- ▶ 採用面接前に公正採用選考人権啓発推進員を中心とした担当者間で質問内容の確認を行った上で面接を実施。また、面接終了後は質問内容の検証を行い不適正質問がなかったか確認を実施。
- ▶ 採用選考担当者に対し、選考開始前に公正な採用選考に関する事前説明（啓発冊子「企業と人権」を活用して、面接時の注意事項を説明）を実施、担当者全員の公正な採用選考に対する意識向上に取り組む。

➡ チラシ「公正な採用選考について」を使った一工夫（24頁参照）

公正採用選考に係る取組事例

社内研修に関する取組

- ▶ 新入社員や管理職等を対象とした研修を計画し、新たに各部門の年間研修計画の必須項目として「人権に関するテーマ」を盛り込むこととした。また、年2回定期発行している全社員向け社内報に人権問題に関する記事を掲載することとし、人権問題の啓発に努めている。
- ▶ 企業内同和問題研修推進委員会が主催する新入社員等人権問題研修会に新卒採用社員を参加させる。

「公正な採用選考」を行うために

- ▶ 福岡県では、チラシ「公正な採用選考について」を作成しています。
- ▶ 前頁の「採用選考の実施に関する取組」で、採用面接に関わる皆さんに配布し、共通認識を持つために活用することができます。

また、採用面接や就職説明会の時に、企業の皆さまから求職者に向けて自社の「公正な採用選考」に対する考え方などについて説明される際にも活用できます。

チラシは県HPからダウンロードできます
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kous-eisaiyou.html>

就職活動中の皆さま・採用選考を行う企業の皆さまへ

公正な採用選考について

採用選考は、応募者の基本的な人権を尊重すること、応募者の適性・能力のみを基準として行うことが大切です。

面接でこのようなことを聞かれたこと(聞いたこと)はありませんか？

兄弟は何人いるの？ 保護者のお仕事は？ 愛読書は？ 尊敬する人物は？

以下の下～⑬を応募用紙(エントリーシートを含む)に記載させる。面接時において尋ねる。作文を課すなどによって把握することや、⑪～⑬を実施することは、就職差別につながるおそれがあります。

本人に責任のない事項の把握

- ①「本籍・出生地」
- ②「家族」(職業、経歴、健康、地位、学歴、収入、資産など)
- ③「住宅状況」(間取り、部屋数、住宅の種類、近隣の施設など)
- ④「生活環境・家庭環境など」に関すること

本来自由であるべき事項の把握 (思想信条にかかわること)

- ⑤「宗教」 ⑥「支持政党」 ⑦「人生観・生活信条など」
- ⑧「尊敬する人物」 ⑨「思想」
- ⑩「労働組合(加入状況や活動歴など)」
- ⑪「学生運動など社会運動」に関すること
- ⑫「種族差別・種別・愛読書など」に関すること
- ⑬「身元調査など」の実施

不適切な選考方法

- ⑭「全国高等学校統一用紙及び厚生労働省履歴書様式例に基づかない事項を含んだ応募書類(社用紙)」の使用
- ⑮「合理的・各務的必要性が認められない採用選考時の健康診断」の実施

※ここに記載したものに限りず、差別につながる事項に該当してはなし。

就職活動中の皆さまへ

上記に該当するような不適切な書類の記入を求められたり、不適切な質問をされた場合は、最寄りのハローワーク(中学生・高校生の方は学校)に相談してください。

企業の皆さまへ

応募者の人権を尊重した「公正な採用選考」を行ってください。

※「公正な採用選考」の基本は、「応募者に広く門戸を開くこと、本人の志・適性・能力以外のことを採用基準にしない」ということです。

※応募者の個人情報収集については、法律及び規制において収集してはならない個人情報定められており、これらの個人情報を応募書類や面接等で尋ねること、職業安定法第5条の4に抵触する違法行為につながります。

雇用者では、就職の機会均等を確保するため、応募者本人の適性や能力に基づく公正な採用選考を推進しています。

福岡県ホームページ「公正な採用選考」
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kouseisaiyou.html>

厚生労働省においても「公正な採用選考」解説動画をインターネット上で公開されています。
<https://kouaisaiyou.mhlw.go.jp/video.html>

※「公正な採用選考」動画を検索することによっても閲覧可能です。

お問い合わせ ▶ 福岡県福祉労働局労働政策課 TEL. 092-643-3562 FAX. 092-643-3568

「公正な採用選考」を行うために

1 採用基準（選考基準）の明確化

- ☆ 職務を遂行するために採用時点でどの程度の適性・能力（技能・経験・資格・将来的な可能性など）が必要とされるか、という観点で採用基準（選考基準）をあらかじめ明確化しましょう。
- ☆ 同和関係者、障がい者、LGBT等、外国籍の人など特定の人を排除しない

2 選考方法の検討

- ☆ 採用基準にどれだけ適合しているかを的確に評価できる選考方法は何か（面接、学力試験、作文、適性検査等）
- ☆ 適性・能力以外の要素を把握するものはないか

3 求人の提示

- ☆ 求職者に提示する「求人」の中で、職務遂行に必要な適性・能力以外の要素を「労働者に求める応募条件」としないようにする ⇒ 応募者に広く門戸を開く
- × 居住地や通勤時間によって応募者を限定 ⇒ 居住地域による差別のおそれ

「公正な採用選考」を行うために

4 採否の決定

- ☆公正な採用選考であったか、あらかじめ定められた基準により応募者の適性・能力を総合的に評価したか、などを慎重に検討していただく必要があります。
- ☆採否が決定（内定）したら、できるだけ速やかに本人に通知してください。

5 採用の内定後における個人情報の取扱い

- ☆採用内定後、従前からの慣行であるなどの理由で、採用内定者の個人情報に係る各種書類を必要性にかかわらず、画一的に提出させる事例が見受けられます。
- ☆採用内定者の個人情報の把握については、「公正な採用選考」の考え方に準じて、基本的人権を尊重した対応が求められます。

**採用内定後の提出書類や人事管理に用いる各種書類の
再点検や見直しをお願いします！**

求職者等の個人情報の取扱い

「職業安定法」第5条の5（求職者の個人情報の取扱い）

労働者の募集業務等の目的の達成に必要な範囲内で、募集に応じて労働者になろうとする者等の個人情報を収集、保管、使用しなければならない。

次の個人情報の収集は原則として認められません。（平成11年労働省告示141号）

- × 人種、民族、社会的身分、門地、本籍、出生地その他社会的差別の原因となるおそれのある事項
 - * 家族の職業、収入、本人の資産等の情報
 - * 容姿、スリーサイズ等差別的評価につながる情報
- × 思想及び信条
 - * 人生観、生活信条、支持政党、購読新聞、雑誌、愛読書
- × 労働組合への加入状況や活動歴等
 - * 労働運動、学生運動、消費者運動その他社会運動に関する情報

※ 個人情報の収集は、本人から直接又は本人の同意の下で収集することが原則です。

※ 違反行為をした場合は、職業安定法に基づく改善命令を発出する場合があります。

求職者等の個人情報の取扱い

Topic : 『裏アカ』調査

採用活動中の企業が調査会社に依頼し、就活生らが匿名で使うSNSアカウント（裏アカ）を特定した上で、投稿内容を調べる動きがあるとの報道があります。

しかし、インターネット上の応募者個人のSNSには、平成11年労働省告示第141号指針において、原則として収集してはならないとされている情報が含まれている可能性があります。

同和問題に係る差別の解消に向けて

1 「部落差別の解消の推進に関する法律」の制定

近年、同和問題を巡っては、情報化の進展に伴ってその差別に関する状況や態様に変化が生じていることを踏まえ、平成28年12月に、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的として「部落差別の解消の推進に関する法律」が公布・施行されました。

また、福岡県では、法律の制定を受けて、「福岡県部落差別の解消の推進に関する条例」を平成31年3月1日に施行しています。

同和問題に係る差別の解消に向けた公正な採用選考の実施に一層の取組をお願いします。

公正な採用選考システムの確立が図られるよう
積極的な取組をお願いいたします。

※ 公正採用人権啓発推進員の皆様方におかれましては、各事業所内で「公正な採用選考」の実現のための旗振り役となり、特に採用に携わる方（企業トップクラスの方、人事権のある方、採用面接に携わる方等）に対し、確実に本研修内容の伝達研修を行ってください。

ご清聴ありがとうございました。

本研修資料は、以下のホームページ上に一定期間掲載しますので、社内研修等に御活用ください。

福岡労働局ホームページ「公正な採用選考・公正採用選考人権啓発推進員について」

https://jsite.mhlw.go.jp/fukuoka-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/syokugyou_koyou/hourei_seido/taisaku_e01.html



福岡労働局
「公正採用選考」

福岡県では、就職の機会均等を確保するため、応募者本人の適性や能力に基づく公正な採用選考を推進しています。

福岡県ホームページ「公正採用選考」

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kouseisaiyou.html>



福岡県
「公正採用選考」

厚生労働省においても「公正採用選考」解説動画がインターネット上で公開されています。

<https://kouseisaiyou.mhlw.go.jp/document.html#video01>



厚生労働省
「公正採用選考」
解説動画